

## 景況実感調査(5月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① 4月よりは、加工量が若干増加したが、先の話が見えて来ず、不安だけである。
- ② 5月は稼働日数が少なかったが、前半と後半を比べると、後半の方がはるかに荷動きが悪化した。この状態のまま6月は推移しそうだ。体力勝負となるが、与信面が心配になってくる。
- ③ 市中相場は底入れ気配も、荷動きは悪く上値は重い。5月上旬より引合いは多少増加気配で、当用買いのボリュームが増えてきた。
- ④ 底値が確認され下げ止まっている。在庫も順調に減少しており、一部サイズに不足感が見られる。契約残が過去に経験のない水準まで減少しており、荷動きが回復基調に転じた場合、一時的に対応できない状況が想定される。建築関連は、秋口以降の見積りが散見されるようになってきた。
- ⑤ あらゆる業種においての需要減退の影響が長引いており、大型連休の影響もあり、最近数年間では最低の受注状況となった。自動車、情報家電業界は底を打った情勢にあるが、GM破綻の影響が、今後材料需給関係に波及してくることが危惧される。
- ⑥ 売上は対前月比5%超の減少。前月比、2日前後の稼働日減だが、得意先や同業他社を見聞きする限り、助成金を申請しての一時帰休で、実質の稼働日は15～17日だったと思われる。電機や自動車メーカー関連に減産の緩和傾向が報じられているが、建材薄板(鋼製下地や内外装材向け)は、これからの実需減少傾向が本格化してくると予想される。少ない需要を大切に、取りこぼしの無いように、与信情報を含め、価格も大事に商売していきたい。保証協会の保証付の緊急制度融資の返済が始まる時期(秋口)は、与信リスクも高まりそうだ。
- ⑦ 5月度は、コイルの仕入れは下がってきているが、ユーザーへの販売価格が更に下回り、赤字が続いている。収益改善できるのは8月になる見込み。
- ⑧ 自動車等一部で回復の兆しがあるが、大半が更に悪化する様子。無駄遣いをなくし、出金を抑え、受注を多くする。不渡りは命取り。
- ⑨ 需要の盛り上がりは自動車向けのみだが、在庫調整に目途が立ち、低値はきり上がって来た。引合い、見積りも増えてきており、雰囲気は良くなってきている。

## 中板

- ① 5月の販売量は前月の反動もあり、再び低調域に戻る。末端需要家まで仕事が回って来ない状態が続いており、需用の落ち込みの激しさが鮮明。市況は、東京製鉄の事故の影響はほとんどなく、底値感はあるが、まとまった物件は、売上確保なのか安値で折り合う面が多々ある。採算ラインまでの市況価格引き上げは、現状では難しく、厳しい状況が続くと考える。

## 厚板

- ① 橋梁、鉄骨ともFABの手持ち工事が漸減しており、当月の切板の加工は前月比、更に減少した。当面はこのような状況が続くものと思われる。厚板は、好調だった造船も、ここに来て新規受注が無く、徐々に手持ち工事が減少してきており、建産機、建築等の他需要分野も引き続き低調である。価格的には、高炉メーカーの原料価格がほぼ決着したが、今後の価格政策が未だ不透明であり、切板、厚板とも市況が下落してきている中、今後の価格動向が読みにくい状況である。

## —舟爰开金岡

- ① 大型連休のあった5月は散々。まさかここまで落ちるのかと、目を疑う状況だった。日割り計算で、6月はやや持ち直すと思われるが、苦しい状況は、相場が安定し、需給バランスが取れるまで続くことだろう。
- ② 前月比、営業日が2日少ないが、それよりも日々の売上の減少が際立っている。建築需用の退潮が主因である。9月には回復するとのことで、これから3ヶ月は辛抱のしどころである。それにしても、最近の供給サイドの堅固な価格維持姿勢には目を見張るものがある。

## 異形棒鋼

- ① 末端から仕事が少なく、流通も採算割れしている。少しでも活性化して欲しい。ユーザー、流通、メーカーが納得のいく単価に収束されることを望む。

## 鋼管

- ① 5月の売上は4月より更に下がってしまった。もともと営業日数が少ないのだが、6月、7月と上昇していくと思うが、先の展望が全く開けない。

## 構造用鋼

- ① 店売については、相変わらず荷動き、引合いとも低調である。紐付きについては、自動車向けやベアリングメーカー向けが徐々に在庫調整が進み、少しずつ回復しているものの、建機、産機は、まだ在庫調整に時間がかかる模様である。

## その他

### <金属表面処理加工>

- ① 5月は当初より高操業を予想していたが、紐付き材の工程進捗が若干遅れたこともあり、6月に持ち越しとなる。ただし、緊急対応のまとまった発注があり、計画通りとなる。引合い、成約が少しずつ増えており、次月から高操業となりそうである。